

「南紀支援学校・はまゆう支援学校の統合」について

南紀支援学校は昭和42年、はまゆう支援学校は昭和52年に開校し、みなべ、田辺・西牟婁地域の障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実に努めてきました。

しかしながら、特別支援教育に対するニーズや特別支援学校の役割が多様化する中、平成18年9月、第7期きのくに教育協議会において、「南紀支援学校とはまゆう支援学校の統合を早期に実現し、複数の障害種に対応した特別支援学校のモデル校への再編を検討することが適当である」との提言がなされました。

この提言を受け、南紀支援学校、はまゆう支援学校両校では、「南紀・はまゆう統合問題検討委員会」を立ち上げ、平成19年から平成22年にかけて協議を行いました。

これらを踏まえ、県教育委員会は、多方面から検討を行い、平成28年3月、「南紀支援学校・はまゆう支援学校両校を統合する方向性」を決定し、具体化を進めてきました。

今後、次のとおり統合に向けた準備を進めます。

関係する支援学校	統合の概要
南紀支援学校 はまゆう支援学校	<p>【統合校の内容・特色】</p> <ul style="list-style-type: none">○重度・重複障害のある児童生徒等、一人一人の教育的ニーズに対応する教育を実施します。○安心・安全な学校生活を支える学習環境を整備します。○みなべ、田辺・西牟婁地域における特別支援教育のセンター的機能を有する学校とします。○視覚障害・聴覚障害のある幼児児童生徒や保護者を支援するため、相談活動を充実します。○社会的、職業的自立ができるよう、一般就労の促進に向けた職業教育の充実に努めます。 <p>【今後の進め方（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none">○南紀支援学校の敷地を中心に段階的に新校舎を建設します。○はまゆう支援学校は、新校舎が完成するまで、現在の敷地で教育活動を行います。○新校舎の一部が完成した段階で施設の一部供用を開始します。○全校舎が完成後、肢体不自由教育、知的障害教育、聴覚障害教育を行う統合校として開校します。

「南紀支援学校・はまゆう支援学校の統合」について

みなべ、田辺・西牟婁地域の特別支援教育を牽引する拠点校として両校を統合し、障害のある子供たち一人一人の可能性を最大限に伸ばし、自立・社会参加するために必要な力を育む教育の充実を図ります。

○ 統合校の内容・特色

重度・重複障害のある児童生徒等、
多様な教育的ニーズに対応する教育

安心・安全な学校生活を支える
学習環境の整備

みなべ、田辺・西牟婁地域における特別支援教育の
センター的機能

※センター的機能とは
学校教育法の改正により、特別支援学校には、教育上の高い専門性を生かしながら地域の小・中学校等を積極的に支援していくなど、中核的な役割を担うことが規定されています。

視覚障害・聴覚障害のある幼児児童生徒への
相談支援の充実

一般就労の促進に向けた
職業教育の充実

○ 今後の進め方(予定)

設計

平成29年
4月～

校舎等建設

- ・南紀支援学校の敷地を中心に段階的に新校舎を建設
- ・はまゆう支援学校は、新校舎が完成するまで、現在の敷地で教育活動
- ・新校舎の一部が完成した段階で施設の一部供用を開始

全校舎完成

統合校での
充実した支援教育

- ・肢体不自由教育
- ・知的障害教育
- ・聴覚障害教育